

2025年度 第3回例会

「第2次トランプ政権下での日米金利 ・為替市場見通しと投資戦略」

トランプ大統領が目指す強い米国経済を実現すれば株価は上昇、財政赤字削減で長期金利は低下、そして米ドルは強くなる。トランプ関税は一見するとこれら政策目標達成に際して矛盾を内包しているように見えるが、最終的には米国第一主義を実現する上で多大なる貢献が見込まれる。本講義では関税引き上げに伴うマクロ経済インパクトを整理した上で、トランプ減税延長に伴い財政赤字拡大が危惧される中での債券・為替市場・FRB金融政策見通しを論じたい。また、関税引き下げ協議整理を契機に党内融和を優先し石破前首相が退任となった。米国からの影響が依然、強い中、次期政権下での日本銀行の金融政策・金利シナリオについても議論したい。

◆日時：2025年10月15日(水) 18:00 ~ 20:00

※当日の参加が難しい方のために、後日、録画動画のオンデマンド配信を実施いたします。オンデマンド配信を視聴した場合にも当日参加と同様、公式CPD単位として反映しますので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。

【10月29日(水)～11月11日(火)の期間にオンデマンド配信にて再放送を実施(予定)】

再放送の参加方法等は改めてご案内いたします。

◆会場：会場での現地参加とZOOMでのWebinar開催によるハイブリッド開催

※会場参加、Web参加の申し込み方法については別紙1、別紙2をご参照ください。

会場 TKP東京駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム2階2A

会場参加:80名程度(先着順)

ZoomによるWebinar開催:500名(先着順)

◆講師：井上 健太 氏

< Ph.D. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 シニア債券ストラテジスト >

◆参加登録：会場参加:メールでお申し込みいただきます。別紙1をご参照ください。

2025/10/8㍻切ですが定員に達し次第受付終了いたします。

Webinar参加:別紙2をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違のないよう、正確にご入力をお願いいたします。

※登録上限を500名に設定しており、上限に到達した場合には登録ができません。参加を取りやめる場合は登録のキャンセルをお願いいたします。

◆講演資料：当会会員ホームページからダウンロードしてください(講演当日までに掲載予定)。

◆質疑応答：QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて

■講師プロフィール

井上 健太 氏

井上氏は、2002年4月に国際証券(現在の三菱UFJモルガン・スタンレー証券)に入社され、マクロ経済調査業務(為替・国際金融)を担当されてきました。

2012年6月にUniversity of California, Santa Cruzにて博士号を取得されました。

クオントの手法を融合した最先端の経済・統計分析、計量モデルやシミュレーションを駆使した金利見通しや投資戦略の立案を得意とし、日経ヴェリタスの人気調査でもトップクラスの評価を受けておられます。

現在はシニア債券ストラテジストとして米国経済・金融市場分析、債券投資・ポートフォリオ戦略を担当されています。